

インドITNL社との協働調査実施に関する覚書の締結

NEXCO東日本は、日本の高速道路会社が持つ技術や、JICAの海外投融資をはじめとする日本の各種資金を活用した海外道路事業参入を目指す中、主にインドにおいて、当社の現地駐在員事務所(ニューデリー近郊グルガオンに2010年設置)を活用し、市場特性等の調査を実施しています。

当社は今回、2013年6月27日に、インドの陸上交通インフラ開発会社であるITNL社との間で、協働調査実施に関するMOU(覚書)を締結しました。

今後、このMOUに基づき、インドの道路PPP事業の採算性や参入リスクについてITNL社と協働して調査するとともに、それらを踏まえた参入形態の検討を実施してまいります。

■ ITNL社及びIL&FS社(親会社)の概要

- ・ インド最大の道路PPP運営会社(23件 約12,000車線キロ)
- ・ National Stock Exchange of India 及び Bombay Stock Exchange Ltd.に上場する上場企業であり、インドのインフラ開発ファイナンス会社であるIL&FSグループが約72%の株式を保有

<ITNL社について>

会社名	IL&FS Transportation Networks Limited
所在地(本社)	インド国ムンバイ
設立	2000年
従業員数	約170人※2009年時点
資本金	約19.4億ルピー(円換算:約35億円)※1ルピー=1.8円
株主構成	① IL&FS/IL&FSグループ(72.46%)、②外国企業他(7.54%)
売上等※2012年度	売上高337億ルピー(約607億円)、税引後利益27億ルピー(約49億円)

■ 2013年6月27日 MOU締結時の状況



ITNL社ラムチャンド社長(左)と当社廣瀬による調印の様子



両社長によるMOUの取り交わし(中央はIL&FS社ラヴィ会長)